

ロータリー財団を知ろう！

ロータリー財団の基礎知識と ロータリー財団未来の夢計画の実施に向けての 地区の取り組み



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011－12年度
RI第2750地区
ロータリー財団委員会

いつもロータリー財団へのご寄付をいただきまして、ありがとうございます。

- ロータリー財団は、皆様からのご寄付で成り立っています。
- 皆様からいただいた寄付は、世界中でいろいろなプロジェクトに有効に使わせていただいています。
- 皆様のクラブが、奉仕プロジェクトを計画、実行される際に、そのプロジェクトにロータリー財団の資金を直接使われることも大切なことですが、皆様は、寄付をすることによって、世界中のプロジェクトに間接的に参加されているということをご承知おきください。

この人たちは誰でしょう？

1



2



3



4



5



6



7



8



質問1

この人は誰でしょう？

質問2

この中でロータリー財団と関係の深い人はどの人でしょう？

9



10



この人たちはこういう方々です。

1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



1. カルヤン・バネルジーRI会長
2. 田中作次RI会長エレクト
3. ウィリアム(ビル)・ボイド
ロータリー財団管理委員長
4. ポール・ハリス
5. ジーン・ハリス(ポール・ハリス夫人)
6. アーチ C. クランフ
7. 小沢一彦ロータリー財団管理委員
8. 近藤雅臣RI理事
9. ジョン・ヒューコ事務総長
10. ロン D. バートンRI会長ノミネー

ロータリー財団は、アーチ C. クランフ によって創設されました。



ロータリー財団の創設者、
アーチ C. クランフ(1916
年頃)(写真提供: Rotary
Images)

1917年、アーチ C. クランフ国際ロータリー会長は、「世界でよいことをするために」基金の設置を提案しました。1928年、5,000米ドルにまで成長したこの基金は、「ロータリー財団」と名づけられ、国際ロータリーから独立した別機関となりました。

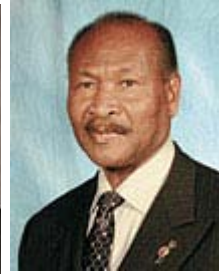
ロータリー財団の使命：「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」

ロータリー財団の標語：『**世界で良いことをしよう。(Doing good in the world)**』

2011-12年度の ロータリー財団管理委員会は？



管理委員長
ウィリアム(ビル) B. ボイド
ニュージーランド、オークランド
(2008-12年度)



管理委員
小沢 一彦
日本、神奈川県、横須賀
(2010-14年度)



国際ロータリー(RI)とロータリー財団(TRF)は、全く別な組織です。ロータリー財団は、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に登記された非営利法人です。ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーだけです。ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。

ロータリー財団は、4名の元RI会長を含む15名のロータリー財団管理委員によって運営されています。

最初に、ロータリー財団への 寄付をおさらいしてみましょう！

年次寄付

1,000ドル以上の寄付者をポール・ハリス・フェローと言います。3年間利殖に回し、その運用益を運営費等にあてます。3年後に全額プロジェクトに使われます。

恒久基金

1,000ドル以上の寄付者をベネファクターと言います。基金として積み上げ、元金には手をつけずにその運用益のみを使用します。

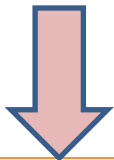
使途指定寄付

ポリオ・プラスへの寄付やマッチング・グラントへの拠出金が該当します。

シェア・システムによって、 年次寄付は配分されます。

WF (World Fund) 国際財団活動資金

マッチング・グラント(MG)
3H補助金
GSE(旅費の部分)
他



世界中のロータリークラブ
で使われています。

50 : 50
シェア

年次寄付は、こ
の2つの活動資
金にシェアされ、
寄付年度の3年
後にいろいろなプ
ロジェクトに使わ
れます。

DDF (District Designated Fund) 地区財団活動資金

地区補助金(DSG)
マッチング・グラントの地区負担分
国際親善奨学金
ロータリー世界平和フェローシップ
他



地区内のロータリークラブで使わ
れています。

すべての寄付が、世界中で使われています。

ロータリー財団のプログラム

ロータリー財団のプログラムは、基本的に下記のように3つに大別されます。

- 人道的プログラム
 - 地区補助金
 - マッチング・グラント
- 教育的プログラム
 - ロータリー財団国際親善奨学金
 - ロータリー平和フェローシップ
 - GSE
- ポリオ・プラス・プログラム

※ 青少年交換学生、インターアクト、ローターアクト、RYLA、米山奨学生等は、ロータリー財団のプログラムではありません。

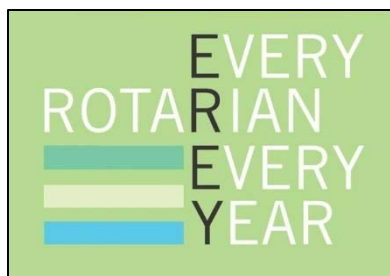
RI第2750地区のDDF配分表

年 度	辰野G年度	片倉G年度	佐久間G年度	舟木G年度
配分可能額				
3年前の年次寄付 の50%	292, 774. 41	296, 793. 95	272, 061. 63	250, 000. 00
恒久基金運用益	42, 437. 68	0. 00	0. 00	未定
前年度繰越見込額 他	279, 650. 21	277, 329. 30	200, 765. 25	130, 414. 88
合計金額	614, 362. 30	574, 123. 25	472, 826. 88	380, 414. 88
配分額				
地区補助金 (DDF上限20%)	58, 554. 00	59, 358. 00	54, 412. 00	125, 000. 00 (新地区補助金)
マッチング・グラント	22, 929. 00	130, 000. 00 (災害支援を含む)	130, 000. 00 (災害支援を含む)	255, 414. 55 (グローバル補助金)
国際親善奨学金	87, 500. 00	104, 000. 00	108, 000. 00	―――
ロータリーセンター	50, 000. 00	50, 000. 00	50, 000. 00	(50, 000. 00)
ポリオ・プラス	80, 000. 00	0. 00	0. 00	(0. 00)
被災者支援基金	30, 000. 00	―――	―――	―――
合計金額	337, 033. 00	373, 358. 00	342, 412. 00	380, 414. 88
次年度繰越見込額	277, 329. 30	200, 765. 25	130, 414. 88	0. 00

各委員会の詳細は、 クラブへのご案内を必ずご覧ください。

- 地区補助金、マッチング・グラントの詳細内容、申請方法等に関しては、すでに各クラブにご案内をしておりますが、地区補助金委員会には各グループ担当の委員がおりますので、事前に必ずご相談ください。
- 国際親善奨学生の募集・選考について、ロータリー平和フェローの募集・選考について、またポリオ・プラスへの寄付については、各担当委員会より直接各クラブにご案内をさせていただきますので、必ずご覧ください。
- 11月は、ロータリー財団月間ですので、クラブ目標、地区目標に向けて、ロータリー財団への寄付をよろしく願います。

本年度の地区目標は次の通りです。



年次寄付

- ・「毎年あなたも100ドルを」の推進、並びに達成
- ・ポール・ハリス・フェロー
→ 100名（マルチプルを含む）
- ・その他
（ポール・ハリス・ソサエティ→10名以上）

恒久基金(大口寄付)

- ・新ベネファクター
会員数100名以上のクラブは2名以上
会員数100名未満のクラブは1名以上
- ・大口寄付（レベル1）→ 5名以上
＜（レベル2）→ 2名以上＞
- ・遺贈友の会 → 広報活動

皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

ロータリー財団は今、 生まれ変わろうとしています。

- ロータリー財団では、初めて補助金システムを中心に、プログラムと運営等の大幅な改正を行います。それが、「ロータリー財団の未来の夢計画」です。
- すでに規定審議会やRI理事会で承認をされ、2013－14年度より完全に新しい補助金システムに移行します。
- その為の試験的プログラムとして、全世界から100地区が選ばれ、パイロット地区として2010－11年度より3年間の試験的プログラムがスタートしました。（日本からは、6地区が選ばれました。）

なぜ、ロータリー財団は新しく生まれ変わるのでしょうか？

全体から言うと・・・

1. 運営もプログラムももっと簡素化が必要。
2. もっと世界のニーズに対応した奉仕活動に焦点をあてる。
3. ロータリー財団をもっと身近に思えるようになってほしい。
4. ロータリーをもっと広報する必要がある。

補助金に関して言うと・・・

1. 近年マッチング・グラントの申請が急増してきた。
2. 今ある14のプログラムが多すぎて、申請等も解りにくく、使い勝手が悪い。
3. 小さなプロジェクトが多いため、必要経費が嵩んでしまう。
4. あまり持続性のあるプロジェクトが行われていない。

具体的に例を挙げると・・・。

1. マッチング・グラントの急激な増加

1965年～2000年：10,000 件のマッチング・グラント

2000年～2004年：10,000件のマッチング・グラント

2. 現在14あるロータリー財団のプログラムが多すぎることに

1) ポリオ・プラス

2) ロータリー平和および紛争解決研究

3) 研修のための国際親善奨学金

4) マルチ・イヤー国際親善奨学金

5) 1学年度国際親善奨学金

6) 大学教員のためのロータリー補助金

7) 財団奨学生地域セミナー助成金

8) 地区補助金

9) マッチング・グラント

10) 3-H補助金 11) 低所得国のための奨学金共同基金 12) ボランティア奉仕活動補助金

13) 研究グループ交換 14) 災害復興



3. 多数の小額補助金の取り扱いは経費上効率が良くないこと

4. 2000-05年度補助金の大半は、緊急な問題に取り組んだが、持続的な成果をもたらすものではなかったこと

具体的には、これまでと補助金の 内容が代わります。

ここで、新しい補助金について、ちょっと簡単にご紹介をしましょう。DDFとWFのシェアは今まで通り50:50で変わりはありませんが、DDFの中身が次の2つの補助金に分かれます。

1. **新地区補助金<DG>**（最大でDDFの50%）

- 1)世界中のどの国でも使うことができます。
- 2)グローバル補助金の対象となる6つの重点分野を除くプロジェクトに使用できます。
- 3)地区の裁量で補助金額等を定めることができます。

2. **グローバル補助金<GG>**（最小でDDFの50%）

- 1)6つの重点分野が対象になります。
- 2)WFからのマッチングが受けられます。
- 3)従来通り、ロータリー財団で管理されます。

新地区補助金はこうなります。

- 新地区補助金 (District Grant: DG) は、3年前の年次寄付の25%が最大です。例えば、3年前の年次寄付額が50万ドルだとすると、新地区補助金の額は、125,000ドルとなります。
- DGの申請は、前年度末までにTRFに提出しなければなりませんので、皆さんのクラブから前年度の2月～4月を目途にプロジェクトを申請していただくこととなります。
- 地区の補助金委員会でチェックをし、まとめて一覧表を作成し、TRFに申請します。
- DGの予算額には限度がありますので、予算額に達した時点で、締め切りとなります。(先着順で受付)
- 補助金の支給額は、その年度によって一定の基準が設けられますので、事前に各クラブにお伝えします。
- 補助金の支給は、9月前後にTRFより一括して地区に振り込まれてきますので、その後に各クラブが指定した銀行口座に振り込むこととなります。
- 報告書は、今まで通り5月末日までにプロジェクトを完了し、遅くとも6月中に提出していただきます。

グローバル補助金はこうなります。

- グローバル補助金 (Global Grant: GG)は、**3年前の年次寄付の25% + 恒久基金の運用益 + 前年度からの繰越金**となります。
- グローバル補助金は、6つの重点分野に属するプロジェクトであること、また、持続的で測定可能なプロジェクトであることが大前提となります。
- グローバル補助金を申請する際には、その前に提案書を提出しなければなりません。提出に際しては、必ず地区の補助金委員会を通していただきます。提案書が了承され、その後申請書を提出します。
- グローバル補助金の申請件数は、地区全体で9件までとなっています。
- グローバル補助金は、地区からの補助金を加えて、従来のマッチング・グラントのようにWFからの補助金が付くものです。
- グローバル補助金のWFからの補助金の最低額が15,000ドルとなっていますので、今までのマッチング・グラントと比較して、大きなプロジェクトを行なうこととなります。最低3万ドル以上となります。
(クラブ拠出金に対しては、1:0.5、DDFに対しては、1:1)
- グローバル補助金を利用した場合は、年度を名タイでもOKですが、1年ごとに中間報告書を提出しなければなりません。

グローバル補助金の 6つの重点分野とは？



平和と紛争予防/紛争解決



疾病予防と治療



水と衛生設備



母子の保健



基本的教育と識字率向上



経済と地域社会の発展



今までの他のプログラムはようになる？

- ロータリー平和フェローシップとポリオ・プラスは、今まで通り、独立したプログラムとして継続されます。この場合、両プログラムへの拠出金は、DDF(結果的にはGG)から拠出されます。
- 国際親善奨学金は無くなり、新たに地区独自で取り決めた新地区補助金を充てた奨学金制度とグローバル補助金を充てた奨学金制度が始まります。詳細は現在検討中です。
- GSE(研究グループ交換)は無くなり、新たにVTT(職業訓練チーム)が始まります。この場合、6つの重点分野に属するか否かでDGかGGのどちらかが使われます。
- 今までと大きく異なる点は、お金の出所がDG(新地区補助金)とGG(グローバル補助金)の2つに集約されることです。

今後のスケジュールは？

2008-09 2009-10	2010-11	2011-12	2012-13	2013-14
<p>2009/2月 ～6月 パイロット地 区参加希望 地区の応募 2009/7月 100のパイ ロット地区を 決定 準備計画</p>	<p>100のパイ ロット地区を 限定して新 補助金制度 がスタート</p> <p>それ以外の 地区は現行 の補助金制 度を継続</p>	<p>プログラ ムの一部が廃 止</p> <p>私たちの地 区では、年 度の後半に DG提出の 模擬練習を 開始します。</p>	<p>評価</p> <p>年度の後半 から次年度 のDG、GG の受付を正 式に開始し ます。</p>	<p>全地区を対 象に新補助 金制度がス タート</p>

スムーズに移行していくためには・・・。

- 未来の夢計画は2013－14年度から実行されます。
- ロータリー財団のプログラム、プロジェクトを進めて行く上で、皆様からの寄付は欠かすことのない大切なものです。
- 皆様からの寄付は、寄付年度に使われるのではなく、3年後にその多くが使われます。3年後に充実したプログラム、プロジェクトを行なうためには、今も今後も皆様が心ある寄付を続けていただくことが必要です。
- ロータリー財団への寄付は、世界中で大切に使われています。故に、寄付をしていただくと言うことは、世界中で展開しているこれらのプロジェクトに参加するということになります。
- 未来の夢計画がスタートしても、寄付は今まで以上に重要になってきます。皆様の温かい気持ちを何卒、よろしく願います。

今後のセミナーにご参加ください。

- 今後、未来の夢計画に特化したセミナーが、いろいろと行われると思います。是非、積極的にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。
- 未来の夢計画に関するマニュアル(ロータリー財団委員会内部用)やハンドブックも作成していきますので、セミナーでは、このハンドブックを基にお話をさせていただきます。
- また、クラブ内でこの未来の夢計画の勉強会を開催したい場合は、遠慮なくご相談ください。
- 2013-14年度は、あっという間にやってきます。地区ロータリー財団委員会では、いろいろな情報をお伝えしていきますので、皆様のクラブでも今からしっかりと計画を立てていきましょう。

**ロータリー財団からは、下記に挙げている
様なたくさんの方が情報が発信されています。
どれも大切な情報ですので、是非ご覧ください。**

**ロータリー財団年次報告書
国際ロータリーのホームページ
ROTARY WORLD**

ロータリーの友

RI第2750地区のホームページ

ロータリー財団NEWS(2750地区で発行)

ロータリー財団に関するCD(2750地区で作成)

未来の夢試験段階のニュースレター

**ロータリー財団の知識を深めていただき、
未来の夢計画のスタートに向かって、
しっかりと準備をしていきましょう！**



ありがとうございました。